

事 業 報 告
決 算 報 告 書

(第47期)

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

株式会社札幌花き地方卸売市場
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

第47期 事業報告

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

我が国の経済においては、令和6年以降、2%以上の物価上昇が続くなか、ここ数年の春闘では高水準の賃上げ率が維持されており、実質賃金においてもプラスへの転換が期待される状況となっております。名目GDPも過去最高水準となっており、総体的に経済は緩やかながら回復傾向にあります。

一方で、賃上げや人手不足などに起因する人件費の上昇や、原材料費や物流コストの高騰による物価上昇が止まらず、さらに、円安の定着が物価高に拍車をかけている状況です。加えて、不安定な中東情勢に伴う、石油の供給、エネルギー価格高騰に対する不安などの要因もあり、実際に生活が改善していると感じた人は、まだ少ないのではないかと考えられます。

花き業界においては、夏の猛暑をはじめとする天候不順による生育不良をはじめ、輸送費の高騰、また物価高により、個人消費に抑制作用が働く傾向が見られるなど、生産者のみならず、流通、販売面でも厳しい状況が続く一年になりました。

一方、開幕まで一年を切った、令和9年3月から半年間にわたり横浜市で開催される「国際園芸博覧会」については、政府も積極的にPRを行っており、「大阪万博の次は、横浜園芸博！」と気運の高まりを見せはじめています。

このような状況の中、市場の花き取扱高(令和7年1月～12月)について見ますと、東京都中央卸売市場(5市場)は、金額で前年比4.4%減であり、大消費地に入荷が集まり、遠方である札幌への出荷量が少なくなる傾向の中、当市場は、前年比5.3%減と、生産者の努力もあり健闘を見せています。

これらの結果、令和7年度の当市場の取扱高(卸売業者三社の合計)は、数量で前年度比4.8%減の6千658万本(前年度6千991万本)、金額で前年比7.9%減の65億1千92万円(前年度70億7千1万円)となりました。前年度(令和6年度)と比較し、数量・金額とも減少となりました。

当期損益につきましては、売上高は1億2千282万円であり、前年度比で530万円の減収となりました。費用面では、修繕費などで精査を行い、必要最小限の支出に努め、経費の節減を図ったことから、1千396万円の営業利益(前期営業利益1千343万円)を計上することとなりました。

経常利益につきましても、1千535万円(前期経常利益1千487万円)の計上となり、法人税等を差し引いた当期純利益は1千19万円(前期純利益1千64万円)となり、4期連続の黒字決算を計上することができました。

当市場は道内の花き市場流通の6割以上を扱う北海道の拠点市場としての機能と役割を果たすため、今後も努力してまいります。

(2) 対処すべき課題

当市場は、昭和56年4月に開場して以降45年が経過しました。このため施設の老朽化が著しく、また、物流の効率化や品質管理の高度化など、市場としての整備機能を含めた再整備が、最大の課題となっております。

令和7年度は、基本的な建設スキームや新市場のコンセプト等に基づいて、国(農林水産省)に対して、現時点での「事業実施計画書」を提出するなど、一定の進展を見せることが出来ました。引き続き、令和8年度は、今後予定される、国に対する補助金の申請に向け、さらに各論に踏み込んだ検討が必要な項目が多くあることから、国、北海道、札幌市や市場関係者と協議を続けていきます。

(3) 資金調達等についての状況

- ① 資金調達 当期中において、新たな借入金、株式の発行はありません。
- ② 設備投資 当期中において、新たな設備投資はありません。

(4) 直前三事業年度の財産および損益の状況

| 区 分 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 売 上 高 | 126,393 千円 | 125,799 千円 | 128,113 千円 | 122,818 千円 |
| 当期純利益 | 2,844 千円 | 12,277 千円 | 10,640 千円 | 10,189 千円 |
| 1株当り当期純利益 | 7 円 00 銭 | 30 円 23 銭 | 26 円 20 銭 | 25 円 09 銭 |
| 総 資 産 | 696,611 千円 | 811,071 千円 | 636,435 千円 | 646,710 千円 |

(5) 使用人の状況(令和8年3月31日現在)

従業員数 社員2名、非常勤社員2名

2 株式に関する事項

- (1)発行する株式の総数 500,000株
(2)発行済み株式の総数 406,000株
(3)当期末株主数 5名
(4)株主

| 株主名 | 持株数 | 株式割合 |
|-----------|----------|---------|
| 札幌市 | 204,000株 | 50.25% |
| 札幌花き園芸(株) | 164,600株 | 40.54% |
| 北海道植物(株) | 19,000株 | 4.68% |
| (株)北海道銀行 | 16,000株 | 3.94% |
| はまなす花き(株) | 2,400株 | 0.59% |
| 計 | 406,000株 | 100.00% |

3 会社役員に関する状況(令和8年3月31日現在)

| 役職 | 氏名 |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 加藤 修 |
| 専務取締役 | 杉村 亮 |
| 取締役 | 田嶋 久嗣 |
| 取締役 | 山田 紀雄 |
| 取締役 | 川村 功 |
| 監査役 | 山田 敏信 |

以上、令和7年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしましたが、今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月22日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 加藤 修

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|------------------------|---------------|------------------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 【流動資産】 | 【 284,905,119 】 | 【流動負債】 | 【 17,636,820 】 |
| 現金 | 60,000 | 未払金 | 5,111,108 |
| 預金 | 273,855,293 | 未払法人税等 | 3,038,100 |
| 前払費用 | 1,255,905 | 未払消費税 | 2,084,100 |
| 未収収益 | 33,658 | 前受金 | |
| 未収入金 | 9,709,972 | 預り金 | 120,760 |
| 貸倒引当金 | △ 9,709 | 精算代金預り金 | 4,649,762 |
| | | 未払事業税 | 1,369,700 |
| | | 賞与引当金 | 1,263,290 |
| 【固定資産】 | 【 361,804,585 】 | 【固定負債】 | 【 8,737,818 】 |
| (有形固定資産) | (346,533,874) | 預り保証金 | 4,400,000 |
| 建物 | 81,952,377 | 退職給付引当金 | 4,337,818 |
| 構築物 | 278,126 | | |
| 工具器具備品 | 837,371 | 負債合計 | 26,374,638 |
| 土地 | 263,466,000 | | |
| (無形固定資産) | (248,311) | 純資産の部 | |
| ソフトウェア料 | 0 | 科目 | 金額 |
| 電話加入権 | 248,311 | 【株主資本】 | 【 620,335,066 】 |
| (投資その他の資産) | (15,022,400) | 資本金 | 470,000,000 |
| 保険積立金 | 22,400 | (利益剰余金) | (150,335,066) |
| 修繕積立金 | 15,000,000 | その他利益剰余金 | 150,335,066 |
| | | 別途積立金 | 40,000,000 |
| | | 繰越利益剰余金 | 110,335,066 |
| | | 純資産合計 | 620,335,066 |
| 資産合計 | 646,709,704 | 負債・純資産合計 | 646,709,704 |

損 益 計 算 書

自令和7年4月1日
至令和8年3月31日

(単位：円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|----------------------|------------|-------------|
| 【 売 上 高 】 | | |
| 施設賃貸収入 | 96,707,112 | |
| 売上高割使用料（卸） | 35,810,059 | |
| 面積割使用料（卸） | 37,908,696 | |
| 売上高割使用料（仲卸） | 3,137,282 | |
| 関連店舗使用料 | 19,851,075 | |
| 精算業務収入 | 16,411,247 | |
| 駐車管理収入 | 2,592,260 | |
| 施設利用負担金収入 | 7,107,100 | 122,817,719 |
| 売上総利益金額 | | 122,817,719 |
| 【販売費および一般管理費】 | | 108,855,482 |
| 営業利益金額 | | 13,962,237 |
| 【 営 業 外 収 益 】 | | |
| 受取利息 | 87,860 | |
| 雑収入 | 1,298,466 | 1,386,326 |
| 経常利益金額 | | 15,348,563 |
| 【 特 別 利 益 】 | | |
| 貸倒引当金戻入益 | | 924 |
| 税引前当期純利益 | | 15,349,487 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 5,160,256 |
| 当期純利益 | | 10,189,231 |

株主資本等変動計算書

自令和7年4月1日

至令和8年3月31日

(単位：円)

| 株主資本 | | |
|----------|--------------|--------------------|
| 資本金 | | |
| | 当期首残高及び当期末残高 | 470,000,000 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 当期首残高及び当期末残高 | 40,000,000 |
| 繰越利益剰余金 | 当期首残高 | 100,145,835 |
| | 当期変動額 当期純利益 | 10,189,231 |
| | 当期末残高 | 110,335,066 |
| 利益剰余金合計 | 当期首残高 | 140,145,835 |
| | 当期変動額 | 10,189,231 |
| | 当期末残高 | 150,335,066 |
| 株主資本合計 | | |
| | 当期首残高 | 610,145,835 |
| | 当期変動額 | 10,189,231 |
| | 当期末残高 | 620,335,066 |

| 純資産合計 | | |
|-------|-------|--------------------|
| | 当期首残高 | 610,145,835 |
| | 当期変動額 | 10,189,231 |
| | 当期末残高 | 620,335,066 |

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 加藤 修

個別注記表自令和7年4月1日
至令和8年3月31日

(単位：円)

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の棚卸方法及び評価基準

棚卸方法----- 実地棚卸
評価基準----- 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっています。但し、平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

無形固定資産 定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。

その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

②消費税等の会計処理

消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっています。また、その経理処理は税込方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

減価償却累計額の金額

有形固定資産の減価償却累計額 777,348,376 円

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度中の剰余金の配当に関する事項

当期中における配当金の支払いはありません。

当該事業年度後の剰余金の配当に関する事項

配当金の支払いの予定はありません。

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式） 406,000株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式） 406,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額 1,527円91銭

一株当たり当期純利益 25円09銭